

PRIMERGY TX200 S3 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY TX200 S3 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での注意および追記事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

平成 18 年 9 月
富士通株式会社

1. 保守交換後の動作について

1.1 Integrated Mirroring SAS について

本サーバに標準搭載されている Integrated Mirroring SAS 機能(RAID1)をご使用になっている際に、SAS コントローラに何らかの不具合が発生し SAS コントローラの交換を行いますと、SAS コントローラ上に保存されているハードディスクドライブの整合性に関する情報が失われるために、再度データ整合性をあわせる目的でアレイコントローラのロジカルドライブの初期化処理が必要になります。

これは過去にライトデータが正しくハードディスクに書かれたかを記録するデータ整合性の情報を、SAS コントローラ上に保存しているためです。本データは SAS コントローラ上の不揮発性 RAM(NVRAM)に保存されております。そのデータを保守ツールにより交換直前に退避し、交換後に復元することが可能です。データが正常に退避・復元ができた場合には初期化は起こりません。

しかし、装置が起動しない場合など、不具合の内容によっては、システム上でツールを起動できず、情報を退避できない場合がございます。その場合には再度データ整合性をあわせる目的で初期化処理を行う必要があります。また、NVRAM 情報が退避・復元できた場合でも、データ整合性を確認できなかった場合には、同様に初期化処理を行う必要があります。

ここで行われるロジカルドライブの初期化処理とは、2 台のハードディスク間でバックグラウンドでデータのコピーを行いデータの整合性をあわせる動作であり、リビルド動作と同一です。

1.1.1 初期化中の留意事項について

Integrated Mirroring SAS のロジカルドライブの初期化はバックグラウンド初期化処理にて行われますので、初期化中もハードディスクヘッドドライブのアクセスは通常通り行えますが、初期化が完了したロジカルドライブと比較すると十分な I/O 処理性能が得られない場合があります。

最大で約 54%の性能低下となる場合があります。

OS 移動中に初期化対象ハードディスクドライブの前面ハードディスク故障ランプがリビルド時と同様に点滅します。

また、ServerView がインストールされている場合には本体の前面および後面保守ランプが点灯します。初期化完了後、これらのランプは自動で消灯いたします。この場合、前面保守ランプのみでなく、ServerView コンソール等により、各種装置の状態確認を実施してください。

初期化完了前にサーバ本体のリセットや電源の切断が行われると初期化は中断されます。

次回再開時は中断したところから初期化が再開されますので、途中でリセットや切断を行っても初期化は継続されます。

初期化処理が完了するまでは RAID1 ロジカルドライブは、非冗長の状態となっています。初期化が完了すると、再度冗長性が確立されます。

初期化完了は GAM ユーティリティの ControllerView よりロジカルドライブ情報を表示させることにより Status が

online であることから確認できます。未完了状態は Critical となります。

下記、「初期化の完了時間の目安について」をご参照のうえ、その時間を越えても初期化処理が完了していない場合は、弊社修理相談窓口までご連絡ください。

1.1.2 初期化の完了時間の目安について

ハードディスクドライブへのアクセスがない場合、初期化の所要時間は下記の表のようになります。

これらの時間はOSが稼動しているトータル時間数で、途中で電源が切断された場合などは含みません。

ハードディスクドライブへのアクセスと並行して初期化が実行された場合には、アクセスのない状態より長い時間を要する場合があります。

		無負荷時	高負荷時
初期化 処理時間	73GB	約 3 時間	約 12 時間
	147GB	約 6 時間	約 24 時間

※高負荷時は常に高負荷のハードディスクアクセスをおこなった場合の完了時間を示します。

※上記はあくまでも目安でお客様の環境により完了時間は前後する場合があります。

1.2 リモートマネジメントコントローラ (iRMC) の設定について

iRMC 機能をご利用のお客様は、以下の点にご注意願います。

iRMC の設定はお客様作業となります。装置の修理においてベースボード交換が生じた場合、以下の情報をお客様にて再設定をお願いいたします。また、その他の設定情報に関しても正しいかご確認をお願いいたします。

・リモートマネジメントコントローラアップグレード (PG-RMCU1)「ライセンスキー」登録内容 (ご購入の場合のみ)

・「User Management」の設定

iRMC 機能を利用するため、Web インターフェース画面開設時のアカウント登録内容です。

工場出荷設定では、

ID:2 ユーザ名: admin パスワード: admin のみが登録されています。

・「DNS Domain」の設定

注意

iRMC の設定情報を復元するために必ず装置に添付されている「環境設定シート」に設定内容を記録し、保管していただくとともに、装置添付の「Server Management Tools」による設定情報のバックアップを行ってください。

2. 新規サポート OS の追加

VMware Infrastructure 3 が新たにサポートされます。

3. 「TX200 S3 梱包物一覧：B7FH-A150」 についての補足事項

梱包物一覧には記載がありませんが、本製品には全タイプ共通で『環境設定シート』が1部添付されています。

障害復旧や定期保守の円滑化のために、お客様のシステム構成を記録していただくようお願いいたします。

4. 「RAS 支援サービス」のマニュアルについて

RAS(Reliability, Availability, Serviceability) 支援サービスのマニュアルは、本体ユーザズガイドではなく、「PRIMERGY ドキュメント&ツール CD」内の以下のファイルを参照願います。

[CD-ROM ドライブ]:¥RASAssist¥TX200S3¥Windows¥WinRAS.pdf

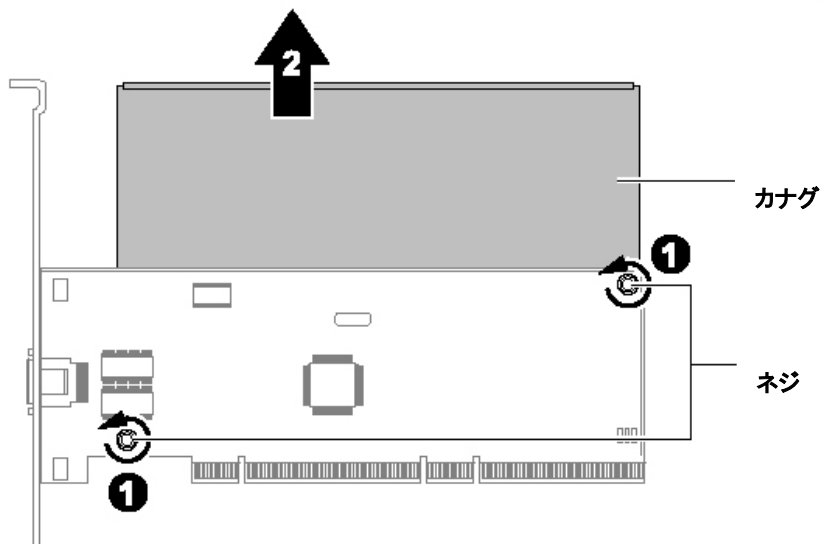
5. 「PRIMERGY TX200 S3 ユーザズガイド：B7FH-4371-01」についての追記事項

追記

7.5.2 搭載可能な拡張カードと搭載時の注意事項（関連ページP256）

● LAN カード

LANカード(PG-1862/PG-1882/PG-1892)をスロット5に搭載する場合は、あらかじめLANカード(PG-1862/PG1882/PG-1892)に取り付けられているカナグを取り外してください。



また、PCI ボードに固定する際は、ストッパーを4箇所取り付け固定してください。

9.8.1 保守サービス（関連ページ 350）

表：定期交換部品

訂正

誤：

部品名	説明
電源ユニット（標準電源のみ）	24 時間稼働時では約 2 年を経過すると交換時期となります。3 年を経過するまでに交換してください。稼働時間により交換時期が異なりますので、RAS 支援サービスによる交換時期を目安に交換してください。
アレイコントローラカードのバッテリー	電源の投入 / 切断時間にかかわらず、約 2 年を経過すると交換時期となります。3 年を経過するまでに交換してください。
UPS のバッテリー	電源の投入 / 切断時間にかかわらず、約 2 年間を経過すると交換時期となります。ただし、周囲温度により、バッテリー寿命が短縮されることがあります。詳細については、UPS の取扱説明書をご覧ください。

正：

部品名	説明
アレイコントローラカードのバッテリー	電源の投入 / 切断時間にかかわらず、約 2 年を経過すると RAS 支援サービスによる交換予告が通知されます。3 年を経過するまでに交換してください。
UPS のバッテリー	電源の投入 / 切断時間にかかわらず、約 2 年毎に交換してください。ただし、周囲温度により、バッテリー寿命が短縮されることがあります。詳細については、UPS の取扱説明書をご覧ください。

以上